

横浜市都市計画マスタープラン
金沢文庫駅東側区心部一帯地域地区プラン
実行計画（アクションプラン）

3. 短期アクションプラン

1. 称名寺歩行者空間整備

対象地と課題：市道谷津坂 462 号線号線（幅員 4.0 ~ 6.0 m・総延長約 850 m）

- * 国道 16 号と金沢海岸通り方面を結ぶ道路であり、金沢文庫駅から称名寺へ行く主要アクセスルートとなっている。また、文庫小学校への通学指定道路にもなっている。
- * しかし、福浦・柴町方面から金沢文庫駅に行く自動車・バスルートにもなっており、金沢海岸通り方面からの通過交通も多い。
- * 称名寺より西側は片側路側帯 1.0m 付きの幅員 6.0m で整備され、西方向への一方通行となっている。
- * 称名寺より東側の称名寺赤門から柴町までの間は幅員 4.0m しかなく、相互交通のため車の待ち渋滞が発生し、歩行者にとって危険な環境となっている。

方策

1. 称名寺の地域性を踏まえた歩行者通行用路側帯のカラー舗装化

* 金沢文庫駅から称名寺を訪れる観光客が安全に確保できるよう、既存の路側帯外側にカラー舗装を施す。

2. 交差点部分のカラー舗装化

* 称名寺赤門前や国道 16 号との交差点など、人や車通りの多い場所ではカラー舗装等の整備を進める

■歩道（路側帯）の整備

歩行者の安全確保向上のため、路側帯及び交差点において、カラー舗装を施す。（横断歩道部はカラー舗装範囲から除外する）
また、整備箇所の一部コンクリート蓋付き U 形側溝が布設されているので、既設 U 形側溝を撤去し、L 形側溝などへ整備する。



■称名寺赤門前のカラー舗装化

交差点をカラー舗装化する。



■国道 16 号との交差点整備

称名寺プロムナードの入口部であり、また、一般車両通行禁止区間を意識できるよう、道路全面をカラー舗装化する。



- 称名寺入口部の特殊舗装による整備ゾーン → カラー舗装化
- 歩行者通行用路側帯の特殊舗装による整備ゾーン → カラー舗装化
- U 形側溝布設部の整備ゾーン → L 形側溝等への整備
- 称名寺赤門より西側交差点部分の特殊舗装による整備ゾーン → カラー舗装化

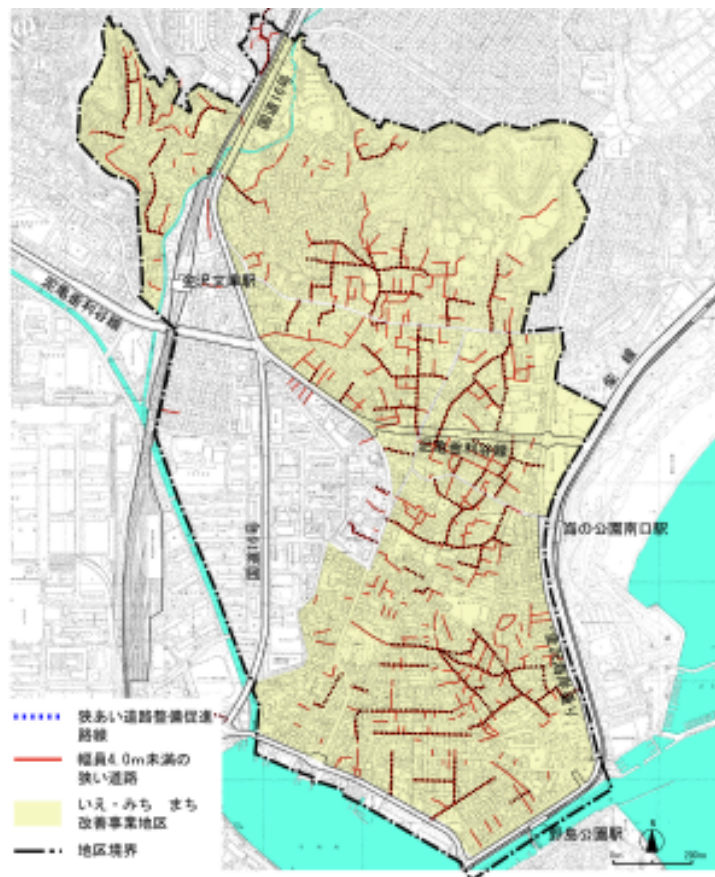
2. いえ・みち まち改善事業

対象地と課題：中部・南部・金沢地区(約94.9ha)

- * 金沢歴史の道より東側のほとんどの市街地がいえ・みち まち改善事業区域に指定されており、木造建物が密集している箇所が多く、建物倒壊や延焼などの危険性が指摘されている。
- * また、狭あい道路拡幅整備事業における整備促進路線に指定されている道路も多い。
- * 街自体は、閑静な住宅地環境の魅力や高い交通利便性などから、住宅の更新が進んでおり、災害に対する危険性が高い現状において、防災性を高めるための総合的な事業を促進する必要がある。

いえ・みち まち改善事業区域の客観的基準に基づく地区の選定基準

- ・住宅戸数密度条件(80戸/ha以上)
- ・倒壊危険条件(S55以前の木造建物棟数率50%)(地震マップ想定震度6弱以上)
- ・建物延焼条件(木造建物棟数率3/4以上)(木造建物の建ぺい率30%以上)
- ・基盤条件(道路公園などの公共施設が未整備)



■いえ・みち まち改善事業メニュー



- 耐震改修助成**
耐震診断で「倒壊の危険性がある」と判定された住宅の耐震改修工事費の一部を助成
- 狭あい道路拡幅整備**
「整備促進路線」に指定された道路沿いで、拡幅部分の舗装整備・門・塀などの除却、擁壁の築造等にかかる費用の一部を助成
- 小広場の整備**
防災活動や地区住民のコミュニケーションの場となるオープンスペースの整備
- 緑化推進**
道路拡幅整備などに伴うブロック塀の除去・生け垣緑化の推進
- 建替促進**
老朽化した建築物を、不燃化された共同住宅等に建替える場合、老朽住宅の除却費、設計監理費などの一部を助成
不燃化以外にも敷地規模などの条件あり
- 市民力による初期消火システムの導入**
・広場の初期消火水槽、ローカル消火栓等の導入
・住民による消防活動組織化
- 地区計画(街並み誘導型)等による規制・誘導**
* 規制緩和による建替促進
・街区全体の不燃化促進
・延焼抑止帯形成(主要道路の拡幅と沿道不燃化)
* 魅力的なまちづくり
・緑化、街並み形成

方策

1. 地域住民への防災情報提供と地域住民の意識向上

- * 勉強会等を通じて、地域の防災に関する情報を住民と行政とで共有し、住環境を改善する事業メニューを紹介して地域の防災意識の向上を図る。

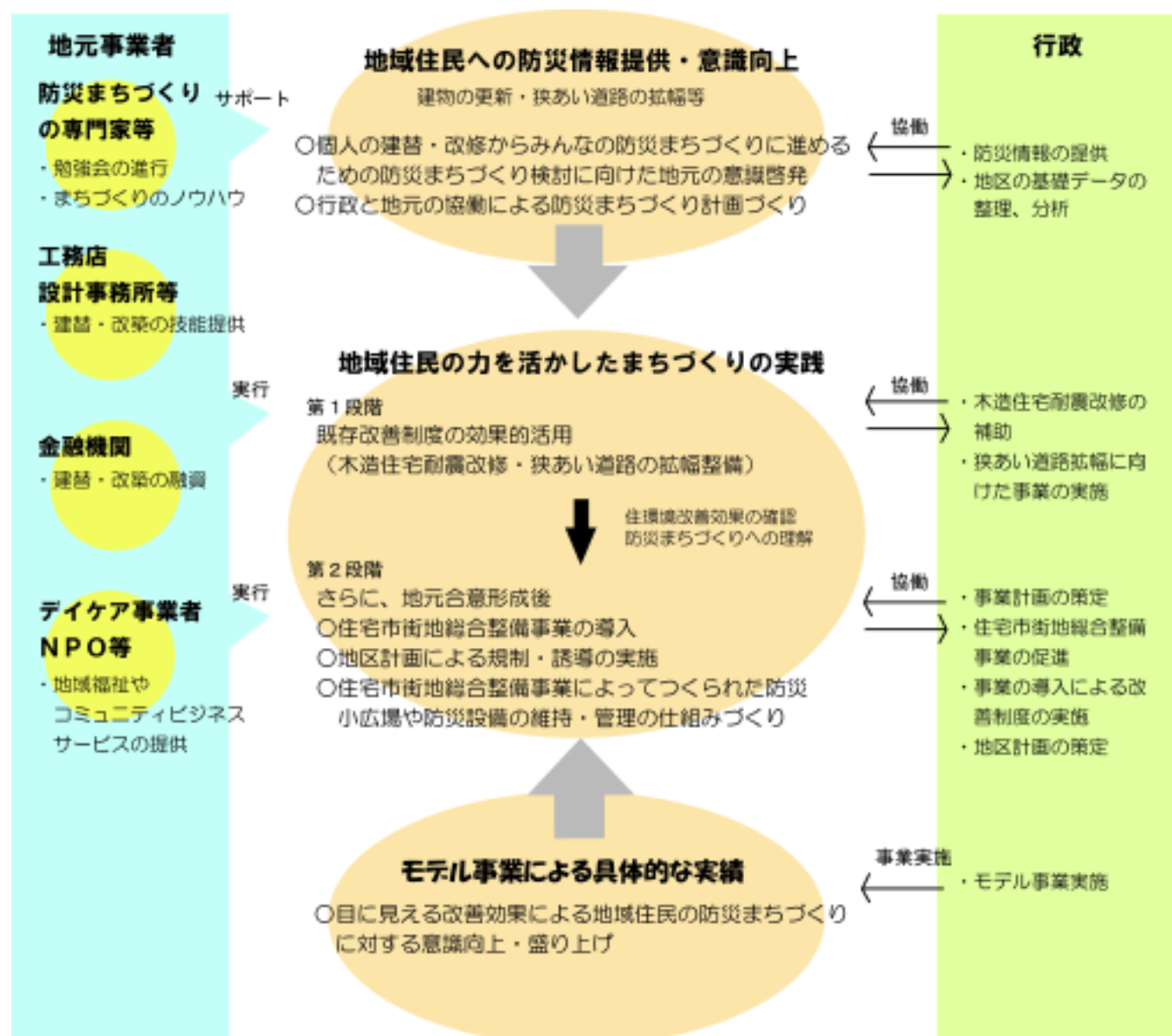
2. 地域住民の力を活かしたまちづくりの実践

- * 既存の改善制度を効果的に実施しながら、狭あい道路の拡幅や木造住宅の耐震改修を進める。
- * 防災まちづくりに向けた合意形成が整い次第、建物共同建替や小広場の整備、ローカル消火栓の導入等の住宅市街地総合整備事業を導入する。

3. モデルとなる狭あい道路整備促進路線の拡幅整備

- * モデル事業を先行的におこない、防災まちづくりの効果を具体的な実績として地域住民が理解し、地域住民が主体となる防災まちづくりの推進を図る。

■地域防災まちづくりに向けて

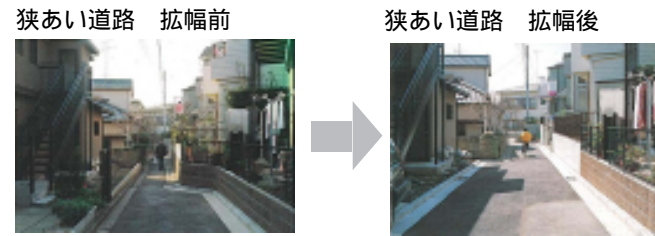


■地域住民への防災情報提供

- ・地域の現状等防災情報等の情報提供
- ・耐震改修、狭あい道路拡幅等の相談会
- ・勉強会、事例視察
- ・意見交換

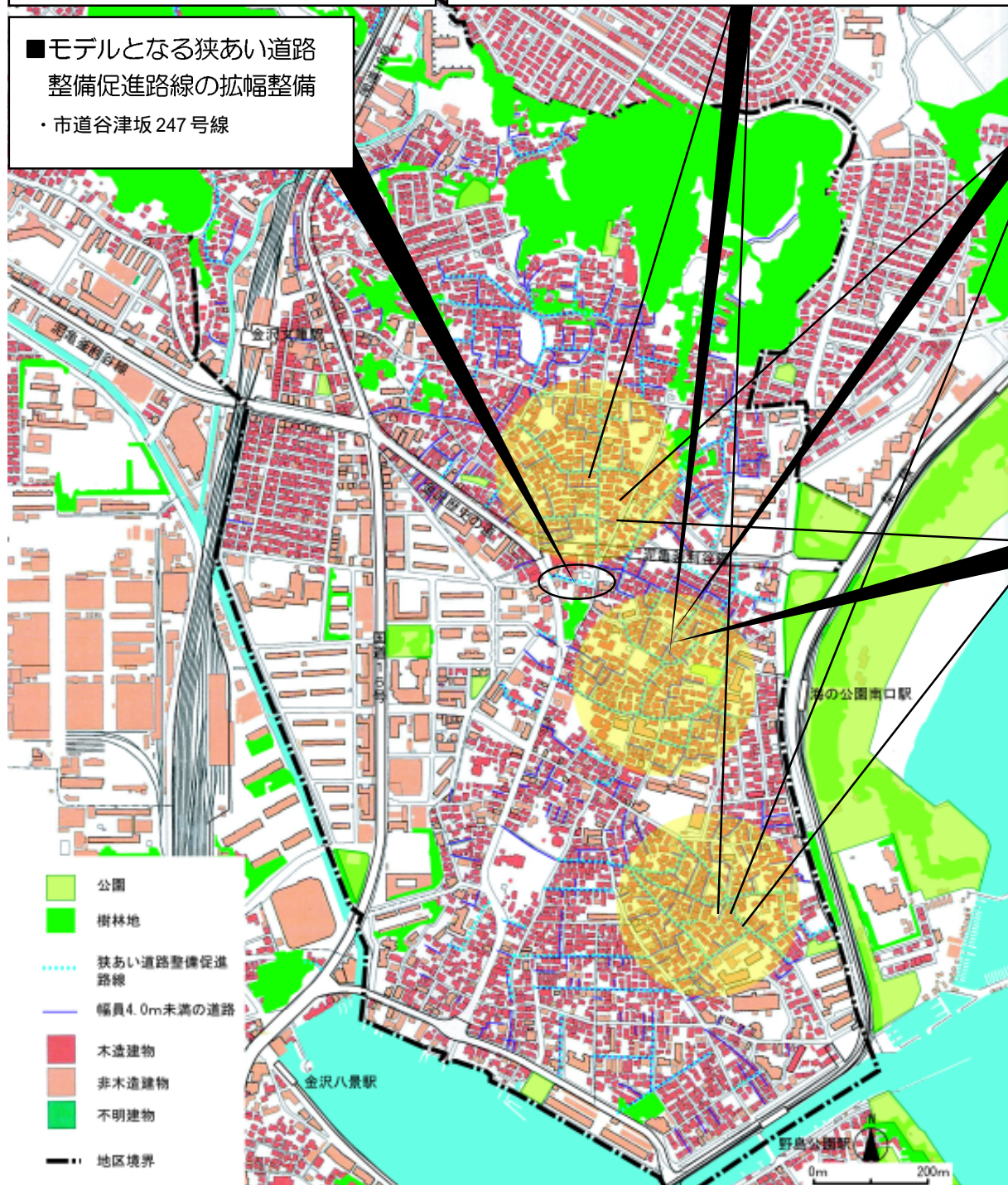
■既存の改善制度の効果的実施

- ・地域防災まちづくり計画の作成
- ・木造住宅耐震改修への助成
- ・狭あい道路の拡幅への助成



■モデルとなる狭あい道路整備促進路線の拡幅整備

- ・市道谷津坂 247 号線



■住宅市街地総合整備事業（密集住宅市街地整備型）導入による改善制度の実施

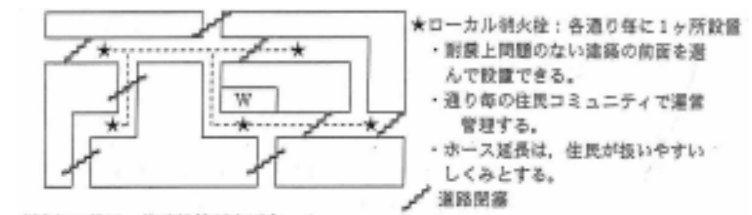
- 地域の合意形成が整った地区から
- ・建替え促進（街並み誘導型地区計画等）
 - ・小広場の整備
 - ・消防水利の整備 等



小広場の整備



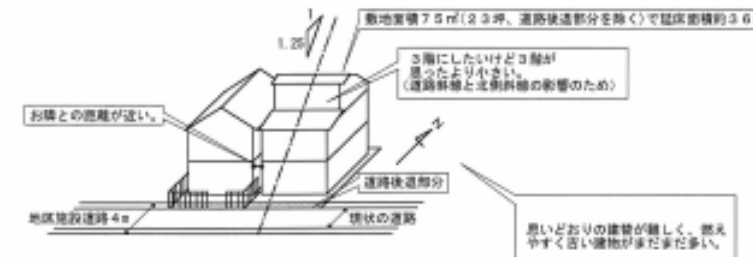
建替え促進



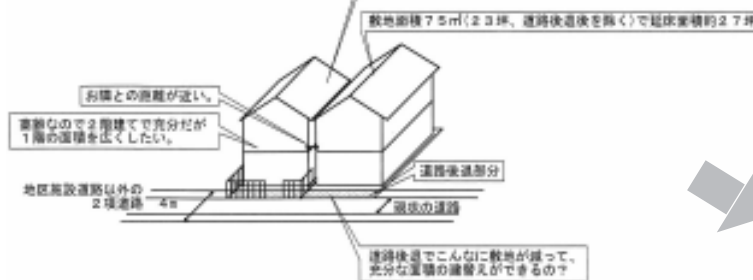
（注）加工設置・管路等検討を要す。
消防水利等の整備（ローカル消火栓）

■街並み誘導型地区計画の導入

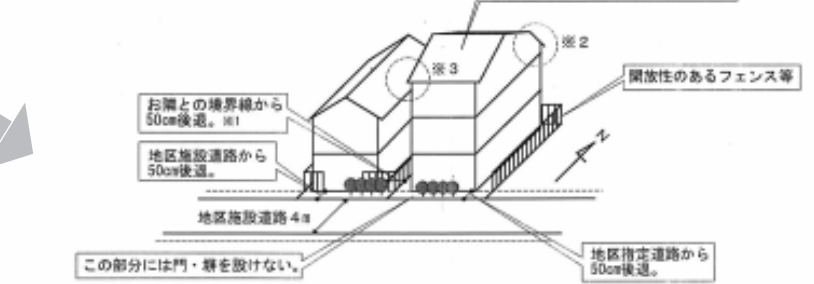
■地区施設道路に接する敷地



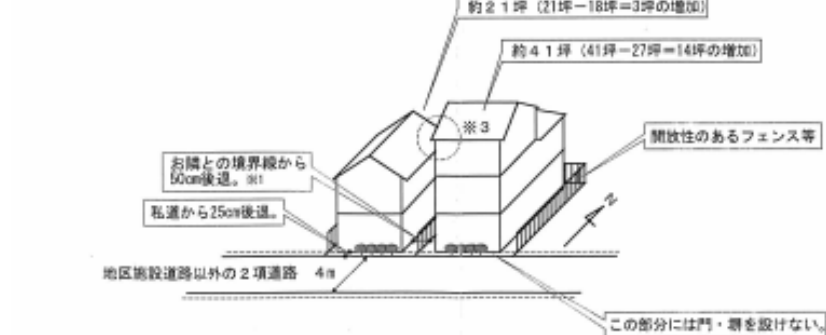
■地区施設道路以外の2項道路に接する敷地



■地区施設道路に接する敷地



■地区施設道路以外の2項道路に接する敷地



現行規制に基づく建物のイメージ

ルールに基づく建物のイメージ

いえ・みち まち改善事業（モデル事業）

対象地と課題：市道谷津坂247号線（幅員2.8～3.8m・総延長約70m）

- * 金沢歴史の道と赤門通りを結ぶ西方向への一方通行道路であり、狭あい道路整備促進路線に指定されている。
- * 寺前地区から区心ゾーンに行く歩行者に加えて、赤門通りを經由して、金沢歴史の道から金沢八景方面に行く自動車の通過交通路ともなっており、安全な歩行者環境を整備する必要がある。
- * 沿道は一部を除き、ほぼ拡幅済みである。

方策

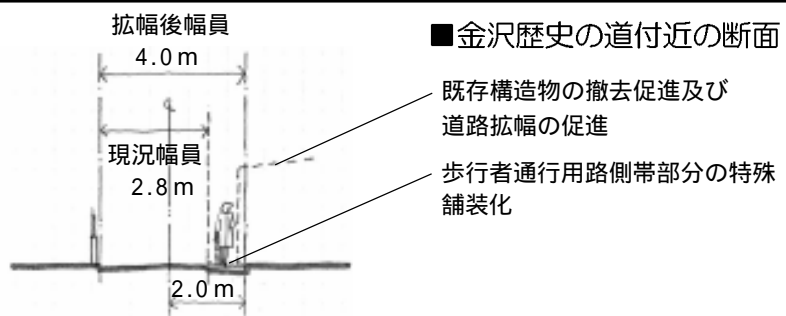
- * 道路セットバックがなされていない箇所のセットバックをおこなう。
- * 北側に安心して歩行者が通行できる路側帯を確保する。
- * 公共用地においては、フェンスは開放性のあるものとし、緑化に努める。

■モデル道路の広域的な位置付け

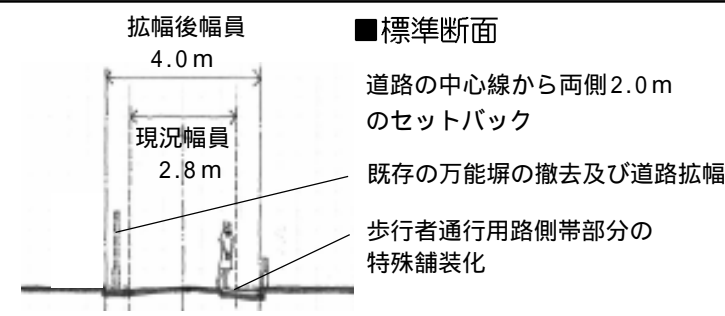
寺前地区からいきいきセンター金沢や区心ゾーンに行く歩行者や赤門通り（北方向への一方通行）を經由して、金沢歴史の道に出る自動車の通過交通路となっている。



■金沢歴史の道付近の断面



■標準断面



国道16号から金沢歴史の道（市道谷津坂467号線）交差点まで連続した歩道の整備



既存の構造物の撤去促進及び道路拡幅の促進

既存の万能塀の撤去及び道路拡幅

至・金沢文庫駅
金沢区役所
いきいきセンター金沢

金沢歴史の道

赤門通り

神社

車の流れ

至・海の公園南口駅



SCALE 1/500

0 5 10 20

3. 金沢文庫駅周辺整備

対象地と課題：金沢文庫駅東口市街地再開発事業検討区域（約0.6ha）ほか。

- * 横浜市の地域拠点および金沢区の中心部として、道路や駅前広場等の基盤整備を図り、活力と魅力ある街づくりを進めることを趣旨とする街づくり協議地区にかかっており、建築物の壁面や景観、緑化の推進などが協議により決められている。
- * 東口の駅前広場は規模が小さく、地域から改善の声が上がっているが、京急電鉄の用地であり、今後とも調整を図る必要がある。
- * 駅東側の国道16号の幅員は、現行の13mから22mまで拡幅する計画であり、拡幅整備と合わせた歩道の改善を図る必要がある。

方策

1. 金沢文庫駅のバリアフリー機能の向上（短期）

- * 金沢文庫駅にエレベーターの設置を進める。
- * 金沢文庫駅に多機能トイレの設置を進める。

2. 金沢文庫駅周辺における駐輪場整備（短期）

- * 金沢文庫駅近傍における駐輪場の設置を進める。

3. 金沢文庫駅東口駅前広場の暫定整備（短期）

- * 国道16号から駅までの歩車道分離を進める。

4. 金沢文庫駅東口周辺地区のまちづくり

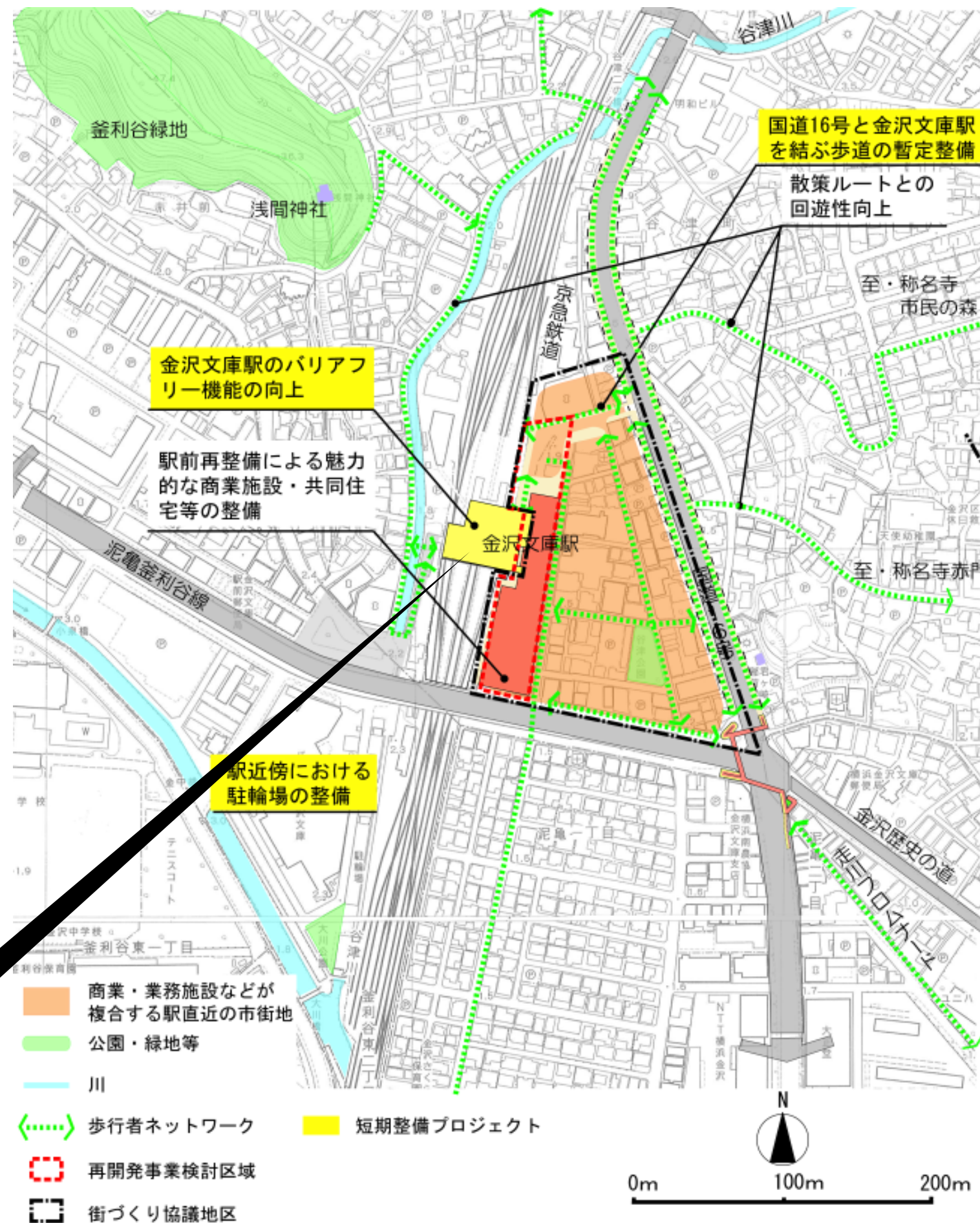
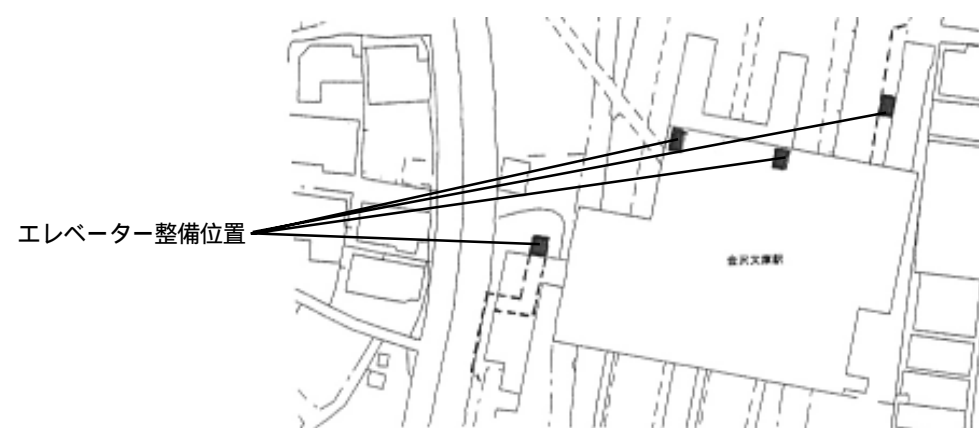
- * 金沢文庫駅に近接して、地区の拠点となる魅力的な商業施設・地域交流施設や集合住宅の整備を進める。
- * 駅前広場では、国道16号まで安全にアクセスできる十分な幅員を持った歩道と交通広場などの整備を進める。

5. 金沢文庫駅を起点とする歩行者ネットワーク

- * 称名寺や六国峠ハイキングルート、金沢区心部への歩行者ネットワークとの連動を図る。

■金沢文庫駅のバリアフリー機能の向上

エレベーター及び多機能トイレ整備により、金沢文庫駅のバリアフリー機能の向上を図る。



■金沢文庫駅東口駅前広場の暫定整備イメージ

対象地と課題：金沢文庫駅東口駅前広場

* 金沢文庫駅東口の駅前広場は規模が小さく、地域から改善の声が上がっているが、京急電鉄の用地であり、今後とも調整を図る必要がある。

* 当エリアは福祉のまちづくり重点推進地区の指定を受け、福祉のまちづくり重点推進地区協議会が活動している。

方策

1. 金沢文庫駅東口交通広場の暫定整備（短期）

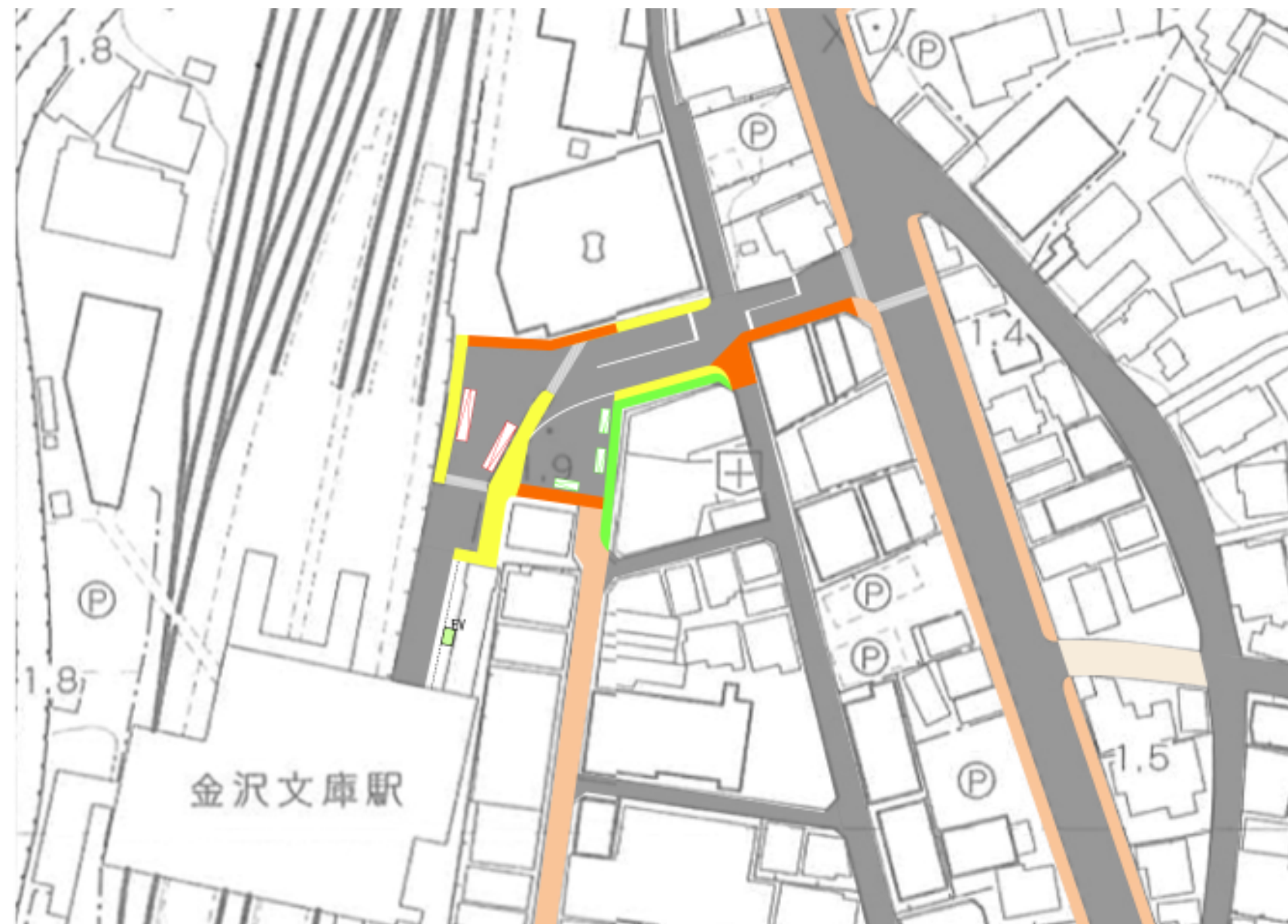
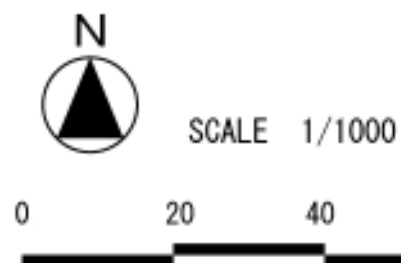
* 国道16号から駅までの歩行者ルートの貧弱さを解消できる歩行者空間の改善を図る。

■整備計画内容

既存の駅前広場の中で安全な歩行者空間確保の整備を図る。

- 1) 歩車道分離を図ることが困難な箇所については、交通車両が歩行者を意識しやすい舗装などに整備する。
- 2) 現在違法駐車の見受けられる場所を歩行者が完全に歩けるゾーンとして整備する
- 3) 既設の歩道を新設する歩道空間と一体で整備する。
- 4) 車両の通行区分を明確にするため、センターライン・停止線を整備する。

- カラー舗装等により通行車両に歩行者を意識させる
- 防護柵・車止め等を設置し歩行者専用ゾーンを確保する
- 既設の歩道を有効に活用する



4. 野島橋周辺整備

対象地と課題：野島橋および野島公園駅

- * 野島橋は野島に渡る3本の橋のひとつであり、近年老朽化が目立っているため橋の架け替え工事をおこなう。
- * 野島公園駅は無人駅であるが、平潟側の出口には階段しか整備されていない。
- * また、野島側出口が未整備であり、野島橋の架け替えと合わせて、橋詰め広場と一体となった駅出口空間のデザインを考える必要がある。

方策

1. 野島橋の架け替え（短期）

- * 老朽化した野島橋の架け替えと合わせて、橋詰め広場を特殊舗装化し、灌木植栽等の設置を進める。

2. 野島公園駅バリアフリー機能の向上（短期）

- * 野島公園駅にエレベーターの設置を進める。

3. 野島公園駅の野島側出口の整備（短期）

- * 野島橋の橋詰めと一体となった野島公園駅の野島側出口の整備を進める。

■野島橋の架け替え

■野島公園駅橋上駅舎へのエレベーターの設置

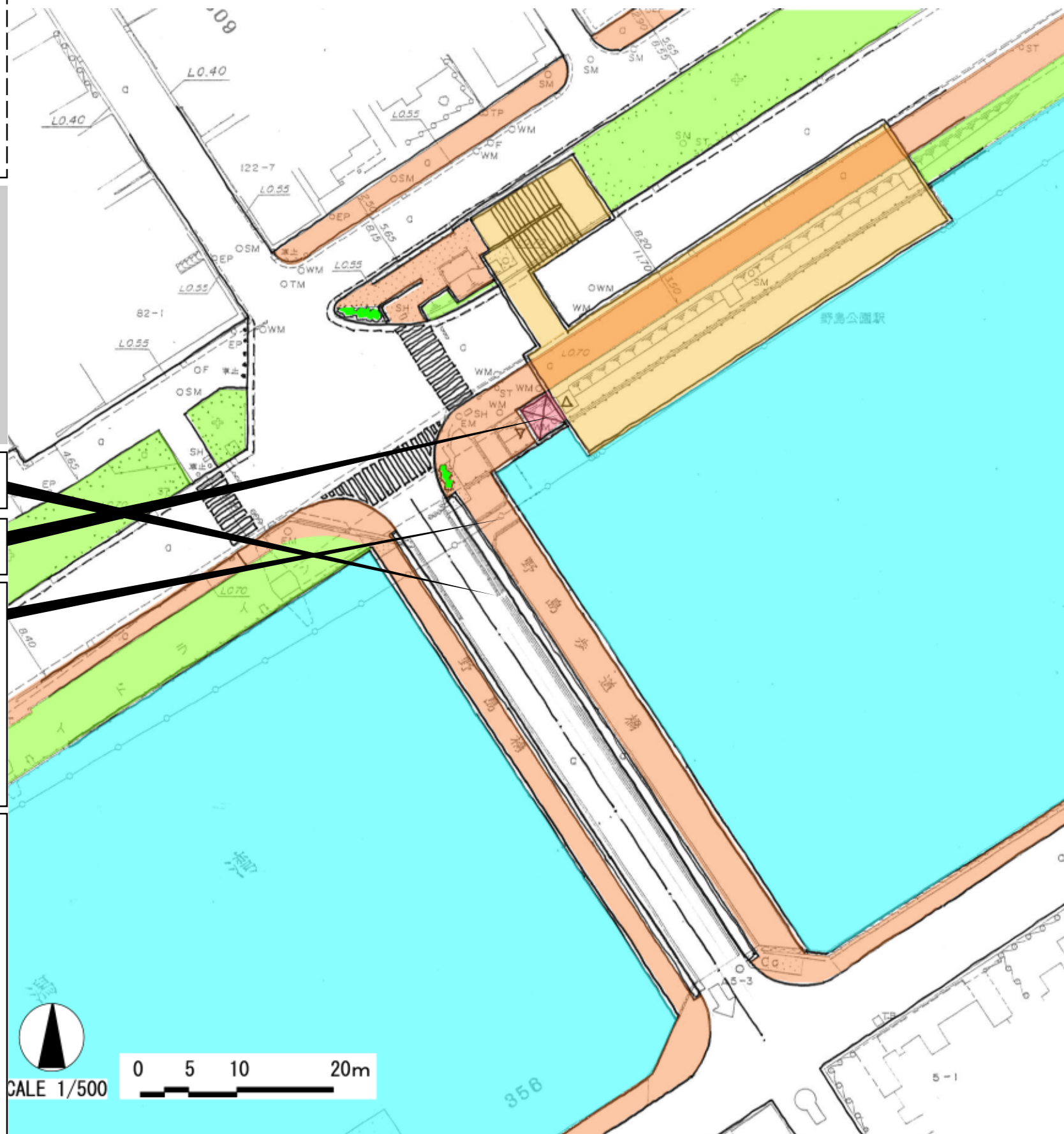
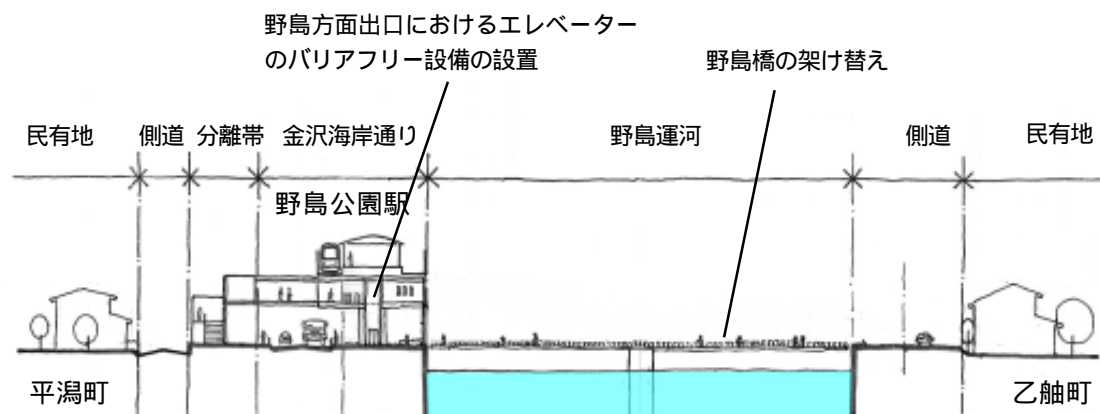
■野島橋たもとの橋詰めと一体となった野島公園駅の野島側出口の整備

野島橋方面出口と野島橋の橋詰めとの交差点に、灌木植栽や特殊舗装を施したポケットパークを整備する



今後の設計の中で変更する場合があります。

■野島橋周辺の断面整備イメージ



5. 金沢文庫駅・いきいきセンター金沢間歩行者空間整備

対象地と課題：市道谷津坂 288 号線（幅員 6.0 m 延長約 250 m）

- * 金沢文庫駅から泥亀釜利谷線陸橋を経由していきいきセンターや区心ゾーンを結ぶ道路で、八景小学校への通学指定路となっている。
- * すずらん通りは、道路に傾斜があるため、車いす利用者などの通行に支障がある。
- * いきいきセンターからすずらん通り入り口までの道路（泥亀住宅内道路）の西側に、路側帯が整備されているが、泥亀釜利谷線の側道との交差点部分で歩行者の動線が途切れており、金沢文庫駅利用者や八景小学校への通学児童などが安全に歩ける歩行環境を整える必要がある。

方策

1. すずらん通りの整備（短期）

- * すずらん通りのバリアフリー化など歩行者空間を改善する。

2. 泥亀住宅内道路における歩行者通行用路側帯の特殊舗装化

- * 泥亀住宅内道路の既存の路側帯に、カラー舗装を施す。

■泥亀住宅内道路の整備イメージ

既存の路側帯の外側をカラー舗装化する

泥亀釜利谷線側道との交差点をカラー舗装化する



■すずらん通り商店街の整備イメージ



道路の整備にあわせ、バリアフリー化を図る。

